朝日印刷
ASAHI PRINTING CO., LTD.

新たな
パッケージングソリューション企業へ

2027年3月期第2四半期
決算説明資料

朝日印刷株式会社
証券コード：3951
2026年11月10日

INDEX

01. 朝日印刷について

02. 2027年3月期第2四半期　決算概要

03. 2027年3月期　業績予想

04. 中期経営計画の進捗

朝日印刷について

01.



Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

会社概要



商号	朝日印刷株式会社
所在地	富山県富山市
創 業	1872年（明治5年）
設 立	1946年5月（昭和21年）
上場市場	東証スタンダード（証券コード：3951）
資本金	2,228百万円
従業員数（連結）	1,803名（2026年9月現在）

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

経営理念

朝日印刷グループの経営理念

お客様本位を基本とし、
企業の永続成長と従業員の幸福とが一致する経営を目指します。

朝日印刷グループの使命と目指す姿



Mission

包むこころを大切にし、安心・安全と美を追求した
商品・サービスを提供することで社会に貢献します。

Vision

包装の価値創出企業として、日本と世界へ新しい包装文化を発信します。
朝日印刷グループで働く世界中のだれもの子供や孫の世代が
「入社したい」と思うような会社を目指します。

Core Value

易きにつかず、難しい道こそ朝日の生きる(活きる)道

Value

私たちは5つの行動指針の元に社会・お客様へ対して価値創出とミッションを果たします。

1. 誇りを持って仕事をします
2. 常識にとらわれず挑戦します
3. 夢を持ち仲間と成長します
4. お互いに協力し感謝を伝えます
5. 確かな仕事で社会に貢献します

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業領域

印刷包材事業を中心に3つの事業を展開

印刷包材事業

当社グループの主力事業
医薬品市場、化粧品市場向け製品の
製造・販売など

【医薬品パッケージ】



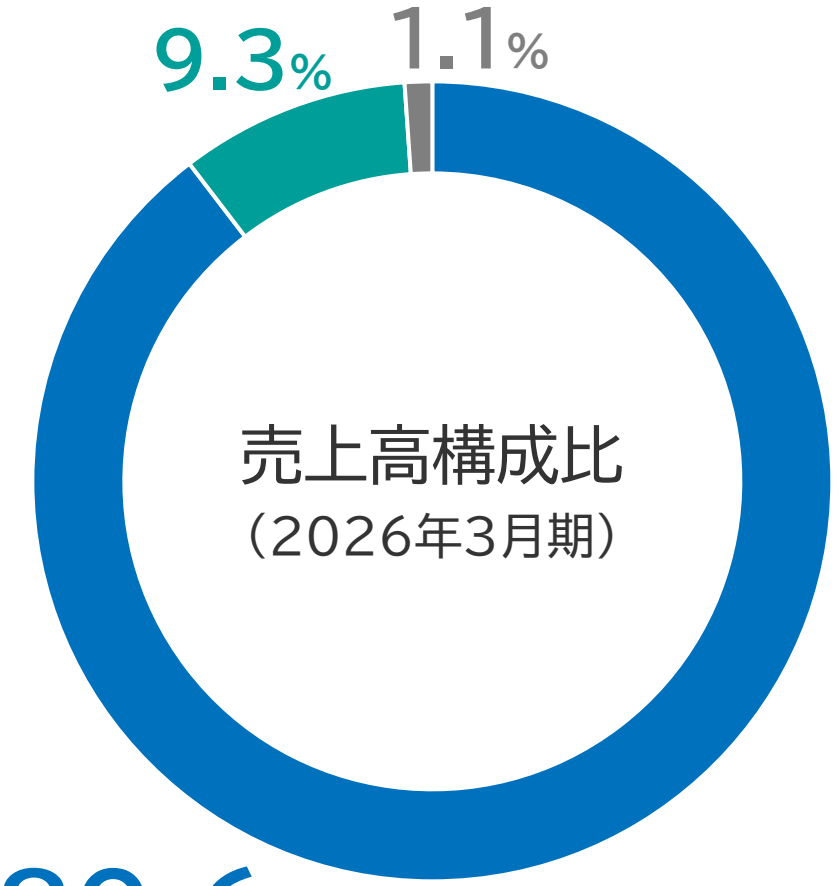
一般用医薬品



医療用医薬品

【化粧品パッケージ】





包材システム販売事業

包装設備の販売事業
包装の前後工程の機械を含む
トータルな提案での販売

【導入実績】



CAP HOLDING TRAY

人材派遣事業

地元企業への職業紹介・労働派遣事業

Asahi Jinzai Service

▸グループ会社　朝日人材サービス株式会社

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

競争優位性

高い参入障壁と安定した生産体制により優位性を確立

高い参入障壁

医薬品包材

医薬品の一部として人命に関わる

- **法律等の厳しい規制**
  - 薬機法やGMP省令に準拠した製造
  - 徹底した品質管理体制と品質保証体制
- **安定供給体制の構築**
  - 医薬品の供給をストップさせない体制



化粧品包材

高加飾で意匠性の高い包装物

- **高度な印刷・加工技術**
- **色の再現性、正確性**

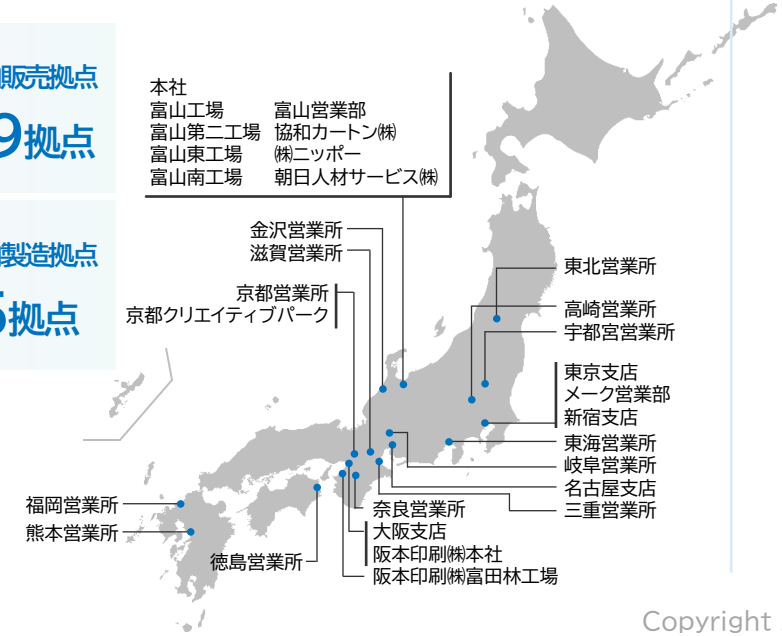


業界トップの生産体制

- **製造拠点の分散**により安定供給が可能
- グループ会社の製造拠点も活かした**業界トップの製造キャパシティ**
- お客様に寄り添った営業活動や迅速な対応が可能な**営業・販売体制**

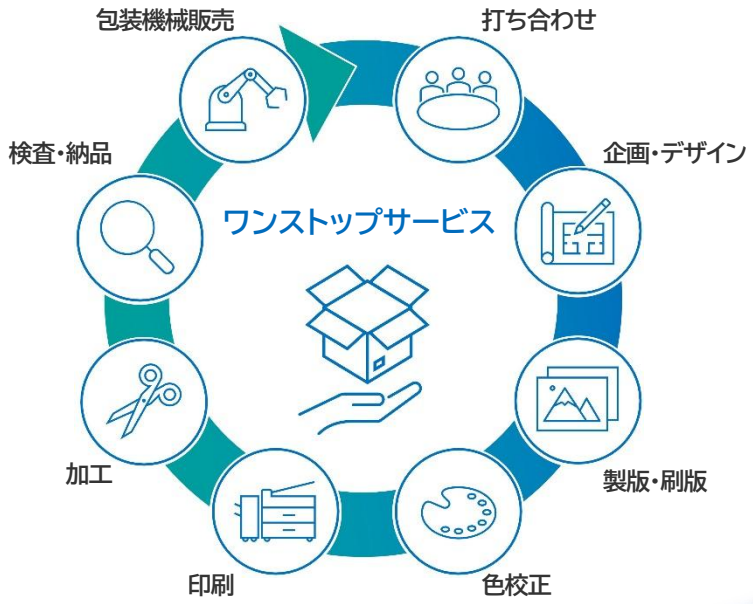
国内販売拠点
19拠点

国内製造拠点
5拠点



ワンストップサービス

- 医薬品・化粧品包材の**設計・デザインから製造・包装まで**自社グループで効率的に提供可能



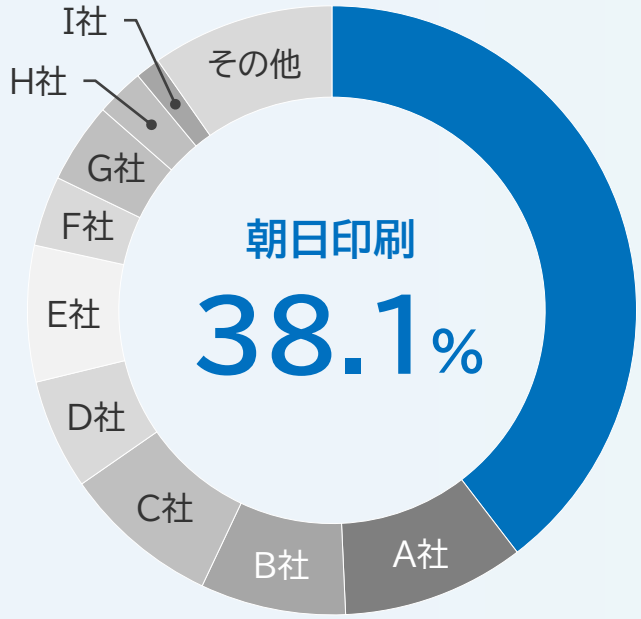
Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

国内シェア

医薬品と化粧品の市場で国内トップシェアを誇る

医薬品市場向け印刷包材(※)

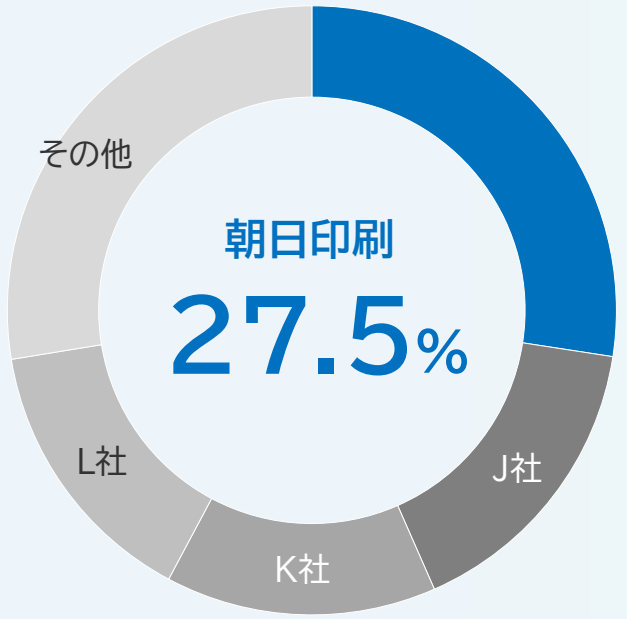
国内シェア No.1



※自社調べ

化粧品市場 向け印刷包材(※)

国内シェア No.1



※自社調べ

偏りのない数多くの顧客との取引により、売上トップの顧客でも売上の 約3% 程度

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期
決算概要

02.



Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期 決算サマリ

印刷包材事業及び包装システム販売事業が堅調に推移したことにより、売上高・各利益ともに前年同期を上回る。
一方、原材料価格の動向や中東情勢など先行き不透明な事業環境が続いており、引き続き市場環境を注視。

（百万円）	26年3月期 2Q	27年3月期 2Q	前期比	前期差	27年3月期 計画	進捗率
売上高	22,511	23,731	+5.4%	+1,220	47,000	50.5%
営業利益	960	1,534	+59.7%	+573	1,940	79.1%
営業利益率	4.3%	6.5%	-	+2.2pt	4.1%	-
経常利益	1,201	1,531	+27.5%	+330	2,060	74.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	748	1,062	+42.0%	+313	1,670	63.6%
ROE（年率換算）※	4.4%	5.9%	-	+1.5pt	-	-
1株当たり配当金	年間38円	年間38円（中間18円＋期末20円）				

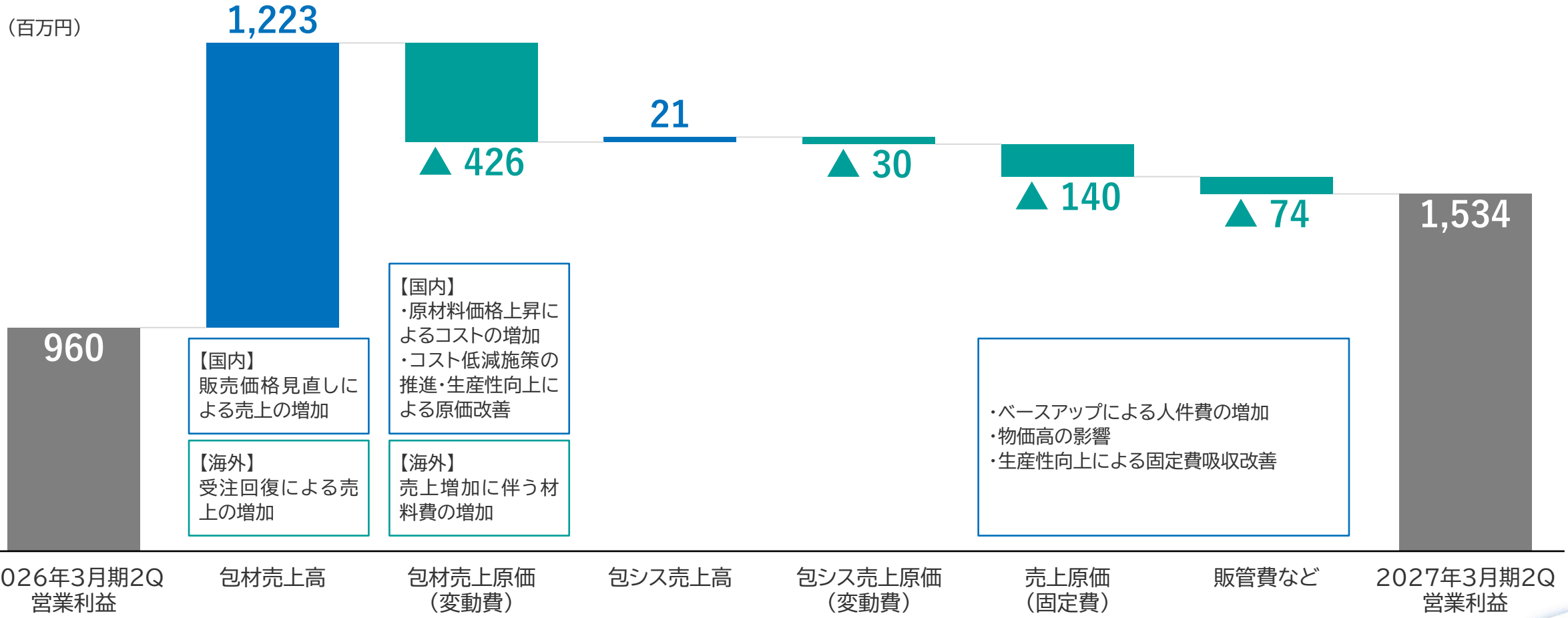
※ROE ＝ 中間純利益 × 2 ÷ 自己資本（期首期末平均）

増収要因	印刷包材事業及び包装システム販売事業の伸長により、増収
増益要因	印刷包材事業の売上増加、収益性向上により、増益
進捗率について	売上高・各利益ともに順調な進捗。通期業績予想は現時点で据え置き。

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

営業利益の増減分析

原材料価格の高騰や人件費の上昇によるコスト増があったものの、
印刷包材事業の売上増加およびコスト低減施策の推進・生産性向上により営業利益が増加



Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

印刷包材事業

国内では販売価格見直しの浸透に加え、コスト低減施策の推進・生産性向上が寄与し、
海外では医薬品向け製品の受注が回復するなど、国内・海外ともに前年同期を上回り堅調に推移

（百万円）

	26年3月期 2Q	27年3月期 2Q	前期比	前期差
売上高	20,118	21,341	+6.1%	+1,223
ー国内	18,820	19,699	+4.7%	+878
ー海外	1,297	1,641	+26.6%	+344
セグメント利益	4,578	5,235	+14.4%	+657
ー国内	4,241	4,814	+13.5%	+572
ー海外	336	420	+25.1%	+84

国内

- 販売価格の見直しが着実に浸透
- コスト低減施策の推進・生産性向上
- 中東情勢を背景とした一部前倒し受注
  ➢前倒し受注の一巡後も堅調な受注

▼

原材料価格・人件費の上昇を吸収し、増収増益

海外

- 前年低調であった医薬品向け製品の受注が一部再開
- 中東情勢の影響により一部製品の受注が停滞

▼

受注停滞の影響はあったものの、増収増益

➢一部製品で受注鈍化が継続しているものの、印刷包材セグメント全体への影響は限定的

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

包装システム販売事業

省人化・省力化ニーズを背景に受注は堅調に推移し、受注残高は高水準で維持。
前年同期に大きく伸長した売上高およびセグメント利益も高水準で推移。

（百万円）	26年3月期 2Q	27年3月期 2Q	前期比	前期差
売上高	2,134	2,155	+1.0%	+21
セグメント利益	354	345	▲2.7%	▲9

- エンジニアリング機能の強化による大型ライン案件の獲得
- 省人化・省力化ニーズを背景とした、堅調な受注環境が継続
- 案件構成の変化により利益率は低下

▶ 増収減益も、受注環境は引き続き良好であり、
高水準の受注残高を維持

印刷包材事業に次ぐ第2の事業としてより一層の成長を見込む

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

その他（人材派遣事業）

派遣稼働人数の減少により減収となったものの、派遣単価の改定により、収益性が改善

（百万円）	26年3月期 2Q	27年3月期 2Q	前期比	前期差
売上高	258	234	▲9.3%	▲24
セグメント利益	66	70	+5.4%	+3

- 派遣稼働人数の減少
- 賃金上昇・物価高を踏まえた派遣単価の改定

▶ 収益性の改善により、増益

当社グループの強化や地元企業への貢献を目指す

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

貸借対照表

（百万円）

資産	26年3月期末	27年3月期2Q	前期末比
流動資産	26,303	27,910	+1,607
現預金	6,927	6,791	▲136
売上債権	14,433	15,260	+826
棚卸資産	3,847	3,978	+130
固定資産	42,872	42,300	▲572
有形固定資産	33,496	32,841	▲655
無形固定資産	2,443	2,445	+2
投資その他資産	6,932	7,013	+80
資産合計	69,175	70,211	+1,035

負債	26年3月期末	27年3月期2Q	前期末比
流動負債	14,246	14,677	+430
仕入債務	5,537	5,260	▲277
短期有利子負債	4,524	4,562	+38
固定負債	18,194	17,869	▲324
長期有利子負債	15,708	15,333	▲375
負債合計	32,440	32,546	+105

純資産

純資産合計	36,735	37,664	+929

自己資本比率	51.5%	52.0%	+0.5pt

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期業績予想

03.



Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績予想

2027年3月期は各種収益性改善などにより増収増益を計画。
➢第2四半期は高い進捗率となり、下期以降に原材料価格高騰の影響を見込んだ計画に対しても想定をやや上回る進捗。
なお、中東情勢による影響を含め、現時点では概ね計画どおり推移する見込みであることから、業績予想は据え置き。

(百万円)	26年3月期	27年3月期	前期比	前期差	進捗率
売上高	44,642	47,000	+5.3%	+2,357	50.5%
営業利益	1,623	1,940	+19.5%	+316	79.1%
経常利益	1,897	2,060	+8.5%	+162	74.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,592	1,670	+4.9%	+77	63.6%
1株当たり当期純利益(円)	75.76	79.45	+4.9%	+3.69	-

【主な増減要因(＋)】
- 国内印刷包材事業における販売価格見直しの浸透による増収
- 海外印刷包材事業における新工場稼働等による売上拡大
- 生産性向上による製造原価の低減

【主な増減要因(－)】
- 原材料価格等の上昇による製造原価の増加
- ベースアップおよび物価上昇に伴う固定費の増加
- 海外印刷包材事業における新工場に係る減価償却費の増加

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画の進捗

04.



Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

長期ビジョン『ASAHI2035』

10年後の2035年に向けた長期ビジョン「ASAHI2035」を策定。
培ってきた事業・強みを土台とし、「新たなパッケージングソリューション企業」として成長を続ける。

包むこころで 社会を豊かに 未来を明るく
～新たなパッケージングソリューション企業へ～



朝日印刷は、医薬品・化粧品の包材を通じて人々の安心・安全や幸せを包み込んできました。150年にわたり受け継いできたこの「包むこころ」を原点に、すべてのステークホルダーの安心で快適な暮らしの実現に貢献し、笑顔のあふれる日常と安心に包まれた希望ある社会を、次世代へとつないでいきます。

長年培ってきた包材事業／包装システム事業を基盤に、「新たなパッケージングソリューション企業」への進化に挑戦します。環境対応・DX推進・ビジネスモデル革新を通じて社会ニーズに応え、新たな価値と事業機会を創出し、社会課題の解決と持続可能な成長を実現します。

そして、これは私たち自身の変革への挑戦でもあります。「易きにつかず、難しい道こそ朝日の生きる（活きる）道」という価値観を共有する仲間とともに、変化を恐れず挑戦を続け、長期ビジョンの実現を目指します。

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画2030の全体像

2027年3月期を初年度とする本中期経営計画は、長期ビジョン「ASAHI2035」のフェーズ1として位置づけ。
フェーズ2に向けた変革への土台づくりの期間とし、2031年3月期にROE8%、営業利益率8%の達成を目指す。

経営理念

お客様本位を基本とし、
企業の永続成長と従業員の幸福とが
一致する経営を目指します

ありたい姿からバックキャストして策定

FY2022－FY2025
収益体制の再構築
中期経営計画
AX2024＋1

FY2026－FY2030
中期経営計画2030
フェーズ1
更なる変革への土台づくり

定量目標（KGI）

ROE	営業利益率
8%	8%

FY2031－FY2035
中期経営計画
フェーズ2
変革期

定量目標（KGI）

ROE
10%以上



Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画2030　成長戦略の骨子

本中期経営計画では、3つの事業戦略と財務戦略、経営基盤の強化を成長戦略として推進。
ROE 8%・営業利益率8%の達成を通じて、次のフェーズへの確かな跳躍台を築く。

長期ビジョン　ASAHI2035 「新たなパッケージングソリューション企業へ」

フェーズ1　中期経営計画2030 「更なる変革への土台づくり」　KGI:ROE8%、営業利益率8%

事業戦略　事業構造改革と成長領域の拡大

❶ 既存コア事業の構造改革

コア事業である印刷包材事業において、収益性を意識した取り組みにより粗利率の向上を推進。

収益性の追求

❷ 成長領域の拡大（包装システム・ラベル・海外）

市場成長を見込める領域について、売上や受注の拡大に取り組む。

❸ 新事業

各事業で培ったナレッジを活かした新事業に取り組み、新たな収益の柱の構築を目指す。

成長の加速

財務戦略　資本効率向上と戦略的資本配分

BSマネジメント

2031年3月期に総資産回転率 0.75回転を目指す。

キャッシュアロケーション

資金を積極的に成長投資（設備、開発、人材等）へと活用。

株主還元

DOE、累進配当の導入により還元方針を大幅に強化。

経営基盤（非財務戦略）　各種戦略を支える土台を構築

人的資本の強化

人的資本の強化を「経営における最重要テーマ」と位置づけ、各種取り組みを積極的に推進。

DX推進

各現場のニーズに即した最適なシステム開発を行うとともに、将来的なデータの一元管理実現も見据える。

環境対応の強化

SBT認定の取得を目指し、「サステナビリティ方針」のもとGHG排出削減に取り組む。

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画の進捗（1）
環境対応｜SBT認定を取得

**パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガス排出削減目標であると認められ、
国際的な気候変動イニシアチブであるScience Based Targets initiative（SBTi）[※1]よりSBT認定[※2]を取得**



認定区分	Near-Term SBT（短期目標）
Scope 1・2	2035 年度までに **63.0%削減**（2023年度比）
Scope 3	2035 年度までに **37.5%削減**（2023年度比）

※Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
※Scope2：他社から供給された電気・熱などの使用に伴う間接排出
※Scope3：Scope1・Scope2以外のサプライチェーン全体で発生する間接排出

単なるコスト増ではない！将来の機会損失を防ぐ防衛策

現在の状況

主要顧客の多くがScope3のCO_2排出削減目標を掲げている。
SBT未取得が直ちに取引へ影響する状況ではないものの、
環境対応への要求水準は年々高まっており、サプライチェーンの一員として
CO_2削減への取り組みが重要となっている。

取得のメリット

国際基準に沿った環境対応を確立することにより、新規コンペや既存案件の選定で有利となり、受注機会を失うリスクを防ぐことができる。SBT認定の取得により、こうしたリスクを低減するとともに、新たな受注機会の創出や市場の開拓につなげる。

※1：SBTiは、WWF、CDP、世界資源研究所（WRI）、国連グローバル・コンパクトの4機関が2015年に設立した国際的なイニシアチブ。科学的根拠に基づく温室効果ガス排出削減目標のガイダンスを策定し、企業が設定した目標の審査・認定を行っている。

※2:SBT認定とは、企業の温室効果ガス排出削減目標が、パリ協定の掲げる「世界の平均気温上昇を1.5℃に抑える努力をする」という目標に整合した、科学的根拠に基づくものであると認められる国際的な認定制度のこと。

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画の進捗（2）
海外事業｜マレーシア子会社における新工場の稼働開始

連結子会社 Shin-Nippon Industriesの新工場「イスカンダル・プテリ工場」の一部工程で生産を開始

現在ライン全体の稼働に向け、取り組み中

医薬品向け製品の生産移管には、
顧客である製薬会社による監査への対応が必要となるため
現在、評価プロセスを進めている。

※これは品質上の課題などによるものではなく、
医薬品業界において求められる品質保証および安定供給体制の確認プロセスの一環

新工場の概要	
所在地	マレーシア ジョホール州 i-TechValley 内
延床面積	約11,000㎡
主な生産品目	医薬品包材、医療機器包材
投資額	約30億円

新工場建屋完成時のリリースはこちら：https://ssl4.eir-parts.net/doc/3951/tdnet/2727090/00.pdf

2025年11月23日
- オープニングセレモニー



現状
- 一部工程で生産を開始
- **顧客による評価を実施中**

今後の展望
- 生産能力を最大限に活かす体制を構築

評価を経て順次生産移管が進むことで、
新工場の生産能力を最大限活用できる体制の構築を目指す

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画の進捗（再掲）株式会社ニッポーの吸収合併

中期経営計画における重点戦略推進の一環として、当社完全子会社である株式会社ニッポーを吸収合併することを決定。
経営資源の一元管理による事業体制の最適化や、ニッポー社の強みを生かした新事業開発などのシナジー創出を図る。

吸収合併の目的

① 事業体制の最適化

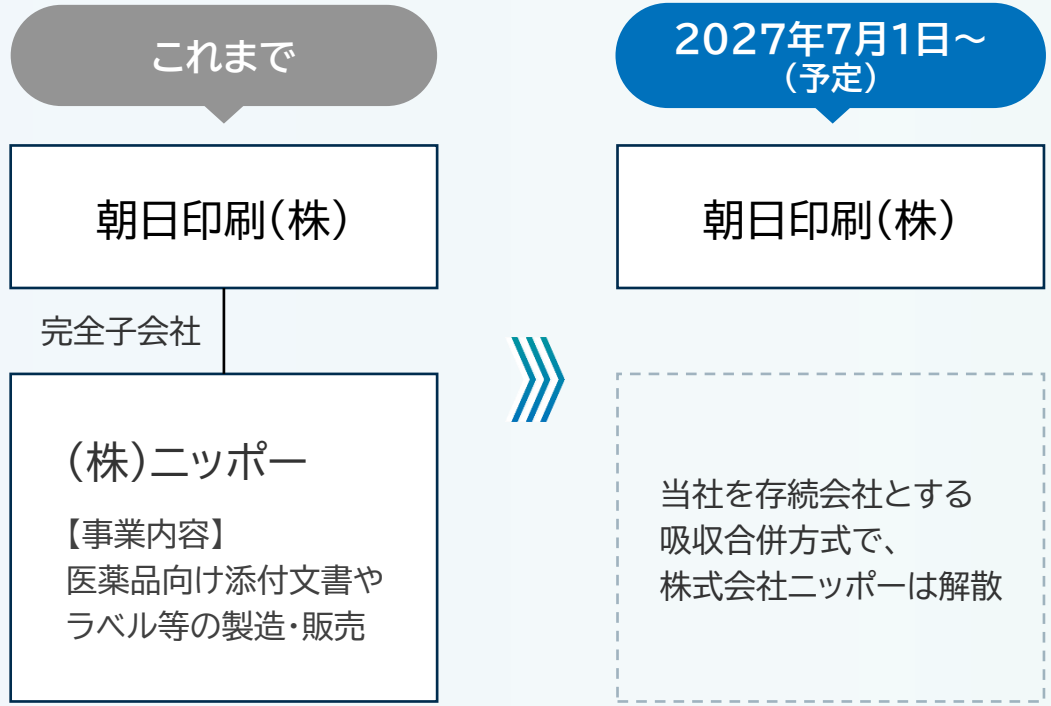
- 分散した経営資源を一元管理し
  ラベルを含む薄物事業の機動性を高める
- 医薬品市場における添付文書の安定供給体制を強化

② 中期経営計画の推進

- 人材・設備などの経営資源を最適配置し
  既存コア事業・ラベル事業を強化
- ニッポー社が有するノウハウ・技術を活用し
  新市場への展開・新製品の開発を推進
- 運用業務の効率化により収益性の向上を図る

➡ **新たな付加価値創出と中期経営計画2030の達成へ**

吸収合併の概要



Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画の進捗（再掲）自己株式の取得

2025年度～2026年度の2年間で

約10億円

の自己株式取得を計画

※2025年度は約5億円の自己株式を計画通り取得済

2026年度　取得概要（7月21日開示）

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するとともに、資本効率の向上、株主還元の充実を図るため、2026年7月21日開催の取締役会にて下記の通り自己株式の取得に係る事項について決議しました。

- 取得期間：2026年7月22日～2027年3月31日
- 取得価額の総額：5億円（上限）
- 取得し得る株式の総数：58万株（上限）
  （自己株式を除く発行済株式総数に対する割合2.80%）

配当政策とあわせ、2027年3月期の総還元性向は70%程度を見込む

Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元

中期経営計画2030においては、さらなる株主還元強化を目的として配当方針を変更。
「連結配当性向40%以上」としていた方針を「累進配当を基本とし、DOE2.4%を目途」とするとともに、
機動的な自社株買いも継続的に実施する計画。

配当方針

「累進配当」と「DOE(連結純資産配当率)」に基づく配当

- 原則として減配せず、配当の維持もしくは増配
- DOE2.4%を目途に配当

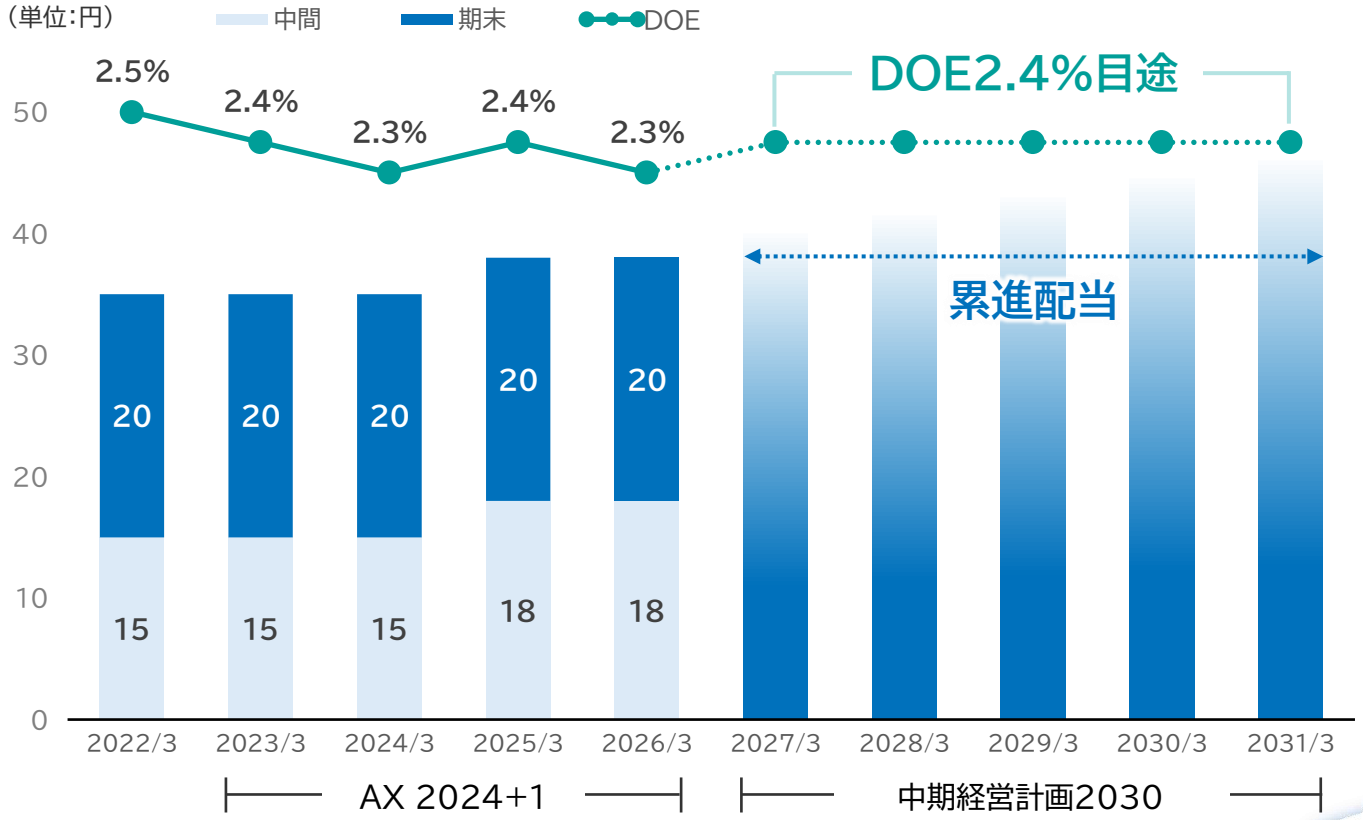
＋機動的な自社株買いも継続的に実施

2027年3月期 総還元性向

2027年3月期の総還元性向は **約70%** を見込む

- 配当38円(累進配当+DOE2.4%を目途)
- 自社株買い5億円(上限)

1株あたり配当金とDOEの推移



Copyright 2026 Asahi Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

免責事項

- この資料に記載されている業績予想および見通しは、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境等の不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

- 投資者一般への情報伝達を目的としており、当社の株式その他有価証券等の売買等を勧誘または推奨するものではありません。

お問い合わせ先

朝日印刷株式会社
経営管理部コーポレート課

TEL:　076-491-6137
HP URL:https://www.asahi-pp.co.jp/
お問合せフォームURL:
https://ywnb.f.msgs.jp/n/form/ywnb/WrMyUr5FPZyHaK3hY26Ld

最新情報・取り組みは
note・Xでもご紹介しています

中期経営計画
2030の詳細

Click!

note

Click!

X

Click!